

## 油圧機器事業：垂井工場の環境配慮型最新工場への建て替えについて

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本克弘）は、建設機械向け油圧機器を生産する垂井工場（岐阜県不破郡垂井町）の建て替えを行うこととしましたので、お知らせします。

垂井工場は油圧機器事業のマザー工場としての機能を担っており、この度、築60年が経過したことに伴い、最新鋭の工場建屋および設備に刷新することとしました。

新工場では、安全性・環境性能・品質・生産性のすべてにおいて「ダントツ」のものづくり工場を目指すとともに、高自動化の実現により需要変動に柔軟に対応できる生産体制を構築します。新工場棟は震度6強の地震にも耐え、過去最高雨量の2倍の排水能力を備えるとともに、非常用電源や避難所機能を備えることで、災害時の地域貢献も考慮した設計としております。また、高効率設備の導入、太陽光パネルの設置、および照明・空調電力を抑制することで、2030年でのSBT1.5℃目標の実現に向けCO<sub>2</sub>排出を削減し、環境配慮型の最新工場を目指していきます。

新工場は、2022年7月に着工し、2025年4月に竣工を予定しており、投資総額は約50億円の計画です。



新工場のイメージ